

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	高槻市立療育園 放課後等デイサービス事業		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 2日		令和 8年 2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 16名	(回答者数)	11名
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 2日		令和 8年 2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの生活空間が広く、設備等のバリアフリー化などの配慮がなされています。園内には相談支援事業や外来リハビリ事業も展開されており、連携した支援が実施できます。	設備等の安全点検や清潔を保つことは意識的に取り組んでいます。相談支援員やリハビリの担当者と情報共有することで、一人ひとりに応じたきめ細やかな支援を行うことに努めています。	切れ目のない支援、子どもたちにとってより良い支援を目指して、連携を図っていきます。
2	園内の設備や近隣の社会資源(公園など)を活用し、姿勢の管理や身体を動かすこと、歩くことなど、身体機能の維持や発達促進に意識的に取り組んでいます。	一人ひとりの身体の状態に合わせて、姿勢管理には特に留意しています。椅子や座位保持装置など、成長や変化に応じて対応するようにしています。	介助や支援の質の向上にむけて、職員が自己研鑽に努めています。
3	曜日固定制で実施しているため、利用されるメンバーが年間を通してほとんど変わらず、子どもたちが友達や集団を意識しやすいです。集団で活動する場面も大切にしており、人との関わりが学べる機会が多くあります。何より子どもたちが通所を楽しみにしてくれています。	長期休暇や学校休業日などの開所時間を見直し、変更を行いました。また、各自の個別支援計画に基づいて支援を行っていますが、子どもたちが活動の主役になれるような設定や取り組みを模索しています。	長期休暇や学校休業日などの開所時間についてはもう少し臨機応変に対応できるように、職員の体制づくりを検討しています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の就労支援や急な預かり希望には対応できない点。	利用時間等について、制度上、柔軟な対応が難しいこと。	制度上の制約がある中でも、支援内容の質の向上に努めます。必要時には行政とも協議を行い、改善を試みます。
2			
3			